

2025年4月2日

# やまぎん企業景況サーベイ

## (2025年1-3月)

### ～コスト上昇で製造業・非製造業ともに景況感が再び悪化～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

#### 【調査要領】

対象期間 2025年1-3月  
調査期間 2025年2月3日～21日  
有効回答数 503社/600社（回答率 83.8%）

#### 【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

#### 【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI (Business Survey Index)」を用いて表します。

#### ①業況判断 BSI <前年同期比>

前年(2024年1-3月)に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合

#### ②売上高 BSI <前年同期比>

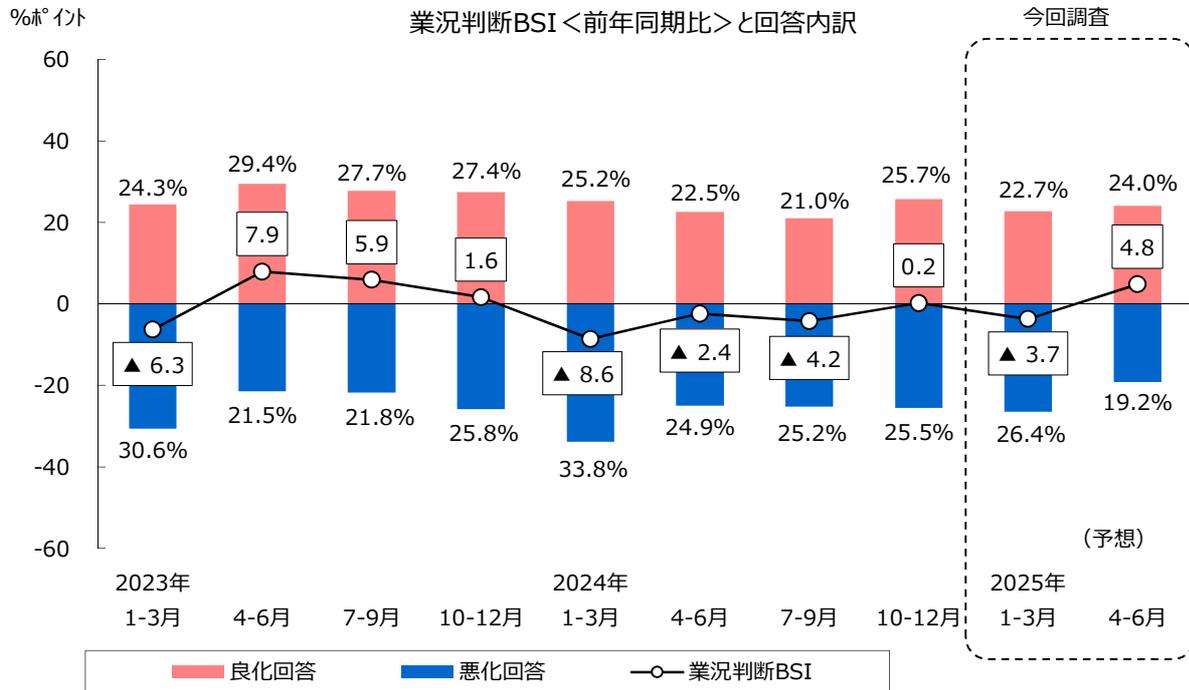
前年(2024年1-3月)に比べ売上高が「増加する」企業の割合 - 「減少する」企業の割合

#### ③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合 - 「少ない」とする企業の割合

やまぎん情報開発研究所  
(山形銀行 営業支援部)

# 1. 業況判断 B S I <前年同期比> ～製造業、非製造業ともに悪化～



## (1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI<前年同期比><前年同期(2024年1-3月)に比べ業況が「良化する」企業の割合-「悪化する」企業の割合>は、前回調査(2024年10-12月)に比べて-3.9ポイントの▲3.7となった。2期ぶりの低下で、再び「悪化超」の水準に転じており、前回調査時点で見込まれていた悪化予想(▲0.8)よりもさらに下振れした。

回答内訳をみると、良化回答の割合は22.7%と前回比で低下する一方、悪化回答の割合は26.4%で1年ぶりの高い割合まで上昇した。前回調査では、製造業を中心に、半導体関連需要の持ち直し等をうけて業況が良化する動きがみられたものの、今回調査では再び受注が落ち込む企業が増加している。また、非製造業では、卸売業などで仕入価格の高騰が業況を下

押ししている様子がうかがえる。

こうしたなか、2025年4-6月の予想は、今回調査比+8.5ポイントの4.8で、先行きに関しては改善期待が大きくなっている。

## (2) 業種別の動向

以下では、業種別のBSI水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業種	時期	2024年					2025年		(予想)	
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回比	4-6月	今回比
全産業		1.6	▲8.6	▲2.4	▲4.2	0.2	▲3.7	-3.9	4.8	+8.5

### ① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比-9.4 ポイントの▲3.8 で、4 期ぶりに低下し、再び「悪化超」に転じた。前回調査時点での予想(6.0)では上昇が見込まれていたことを考慮すれば、予想外の下振れになったとみられる。

**食品・飲料** 原材料であるコメの価格高騰が業況を下押ししている企業がみられたことから、BSIは2期連続で低下。

**繊維・衣服** 販売減からアパレルにおける在庫調整の動きがみられ、BSIは大幅に低下。

**木材・家具** 家具を中心に、前年比では売上高の増加基調が続いており、BSIは4期連続の上昇で全業種中最も高水準となった。

**窯業・土石** BSIは前环比では6期ぶりに上昇に

転じたが、コスト増から採算の厳しい状況が続き、製造業の中では最も低水準となった。

**鉄鋼・金属** 足もとでは建設資材関連の落ち込みが目立ち、BSIは再び低下した。

**電気機械** 配電盤等については底堅さがみられるものの、電子部品の受注が弱含んでおり、BSIは再び「悪化超」に転じている。

**一般機械** 米通商政策の影響を懸念し、国内外でメーカーの投資計画が慎重化していることなどから、BSIは5期ぶりに低下に転じた。

**輸送機械** 認証不正問題の影響緩和等により、一部には自動車部品が受注増となっている企業もみられ、BSIは大幅に上昇した。

**その他製造業** 半導体生産の減少などをうけて、プラスチック製品など関連業種の業況が弱含みとなり、BSIは再び低下した。

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	時期		業種別の業況判断BSI<前年同期比>					(予想)	
	2023年 10-12月	2024年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2025年 1-3月	前环比	4-6月	今回比
製造業	 ▲ 1.4	 ▲ 11.3	 ▲ 4.7	 ▲ 4.4	 5.6	 ▲ 3.8	 -9.4	 6.6	 +10.4
食品・飲料	 10.0	 0.0	 0.0	 10.3	 0.0	 ▲ 7.9	 -7.9	 ▲ 7.8	 +0.1
繊維・衣服	 33.4	 46.7	 20.0	 ▲ 14.3	 0.0	 ▲ 18.7	 -18.7	 0.0	 +18.7
木材・家具	 53.4	 ▲ 46.1	 ▲ 26.7	 ▲ 7.7	 9.1	 36.3	 +27.2	 45.4	 +9.1
窯業・土石	 30.0	 0.0	 0.0	 0.0	 ▲ 55.6	 ▲ 20.0	 +35.6	 10.0	 +30.0
鉄鋼・金属	 ▲ 42.9	 ▲ 26.1	 ▲ 4.8	 ▲ 15.0	 14.3	 ▲ 4.3	 -18.6	 ▲ 4.3	 ±0.0
電気機械	 ▲ 20.7	 ▲ 20.7	 ▲ 12.0	 ▲ 30.7	 3.3	 ▲ 4.0	 -7.3	 16.0	 +20.0
一般機械	 ▲ 38.1	 ▲ 25.7	 ▲ 7.0	 15.9	 34.2	 ▲ 2.4	 -36.6	 19.0	 +21.4
輸送機械	 18.2	 ▲ 25.0	 ▲ 15.4	 ▲ 41.7	 ▲ 60.0	 ▲ 9.1	 +50.9	 ▲ 18.2	 -9.1
その他製造業	 17.7	 0.0	 0.0	 ▲ 3.3	 13.8	 0.0	 -13.8	 5.9	 +5.9

2025年4-6月の予想については、今回調査比+10.4ポイントの6.6で、2期ぶりに「良化超」に転じる見込み。今回調査で低下した電気機械や一般機械が大幅上昇に転じる予想である。

## ② 非製造業

非製造業の業況判断 BSI は、前回は-0.3ポイントの▲3.7となり、小幅ながら2期ぶりに低下した。水準としては5期連続の「悪化超」で、ほぼ横ばいに近い動きが続いているが、前回調査時点での予想(▲5.5)を上回るなど、予想外の弱含みとなった製造業に比べれば一定の底堅さがみられる。

**建設業・不動産業** BSI は2期ぶりに上昇したが、住宅建設の低迷や、公共工事の発注の遅れから5期連続で「悪化超」となっている。

**運輸業** 価格改定効果により BSI は高水準を維持しているものの、軽油高や製造業の輸送量減少などをうけて2期ぶりに低下した。

**卸売業** 仕入価格が高騰するなかで、他社との価格競争により売上高が減少した企業が増え、6期連続で「悪化超」となっている。

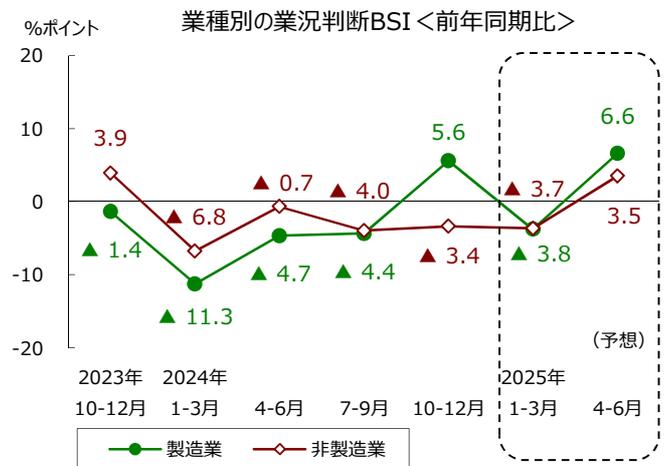
**小売業** 売上高の増加をうけて BSI は再び上

昇しているものの、同業態間でも二極化が目立っている。

**旅館・ホテル, 飲食業** 冬季に入りインバウンド需要が大きく伸び、BSI は大幅に上昇し、非製造業では最も高水準となった。

**サービス業・その他** 価格転嫁の進展などもあり、BSI は2期連続で上昇し「良化超」に転じた。

2025年4-6月の予想については、今回調査比+7.2ポイントの3.5で、製造業と同様に比較的大幅な上昇が見込まれており、実現すれば6期ぶりに「良化超」に転じる予想である。



業種別の業況判断BSI<前年同月比>

(予想)

業種	時期	2024年					2025年			
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回は	4-6月	今回は
非製造業		3.9	▲6.8	▲0.7	▲4.0	▲3.4	▲3.7	-0.3	3.5	+7.2
建設業・不動産業		2.3	▲22.2	▲7.6	▲7.2	▲9.9	▲6.4	+3.5	5.3	+11.7
運輸業		35.3	0.0	28.6	20.0	31.6	22.2	-9.4	11.1	-11.1
卸売業		▲4.5	▲12.5	▲12.9	▲12.9	▲10.0	▲26.5	-16.5	▲9.5	+17.0
小売業		10.4	3.7	1.9	12.0	▲2.0	4.3	+6.3	6.4	+2.1
旅館・ホテル, 飲食業		25.0	57.2	0.0	▲15.8	6.2	26.7	+20.5	20.0	-6.7
サービス業・その他		▲6.1	▲6.0	13.4	▲6.1	▲1.8	3.6	+5.4	5.6	+2.0

### (3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、置賜地区が3.0、北部地区が▲1.0、西部地区が▲1.8、山形地区が▲8.1、庄内地区が▲8.3の順になった。前回は上昇したのは西部地区のみで、4地区が低下した。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上市市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

#### ① 山形地区

前回は-5.2ポイントの▲8.1で、3期ぶりに低下し、2022年10-12月以来約2年ぶりの低水準となった。同地区におけるウエイトの高い卸売業の不振が全体を下押ししている。

#### ② 置賜地区

前回は-5.5ポイントの3.0で2期ぶりに低下したものの、全地区中唯一「良化超」の水準を維持した。同地区ではPC買い替え需要の拡大等から電気機械製造業の改善が目立っている。

#### ③ 西部地区

前回は+4.4ポイントの▲1.8で、依然「悪化超」ながら全地区中唯一前回は上昇。建設業・不動産業で災害対応により受注増となった企業がみられ、非製造業を中心に改善した。

#### ④ 北部地区

前回は-6.6ポイントの▲1.0で再び「悪化超」に転じた。前回調査で大幅改善となった一般機械製造業において、「良くなる」から「横ばい」に転じた企業が多くなっている。

#### ⑤ 庄内地区

前回は-0.2ポイントの▲8.3で、全地区中唯一3期連続で低下し、最も低水準となった。非製造業は小売業の改善等をうけて上昇したものの、製造業が食料品・飲料等を中心に2期連続で大きく低下している。

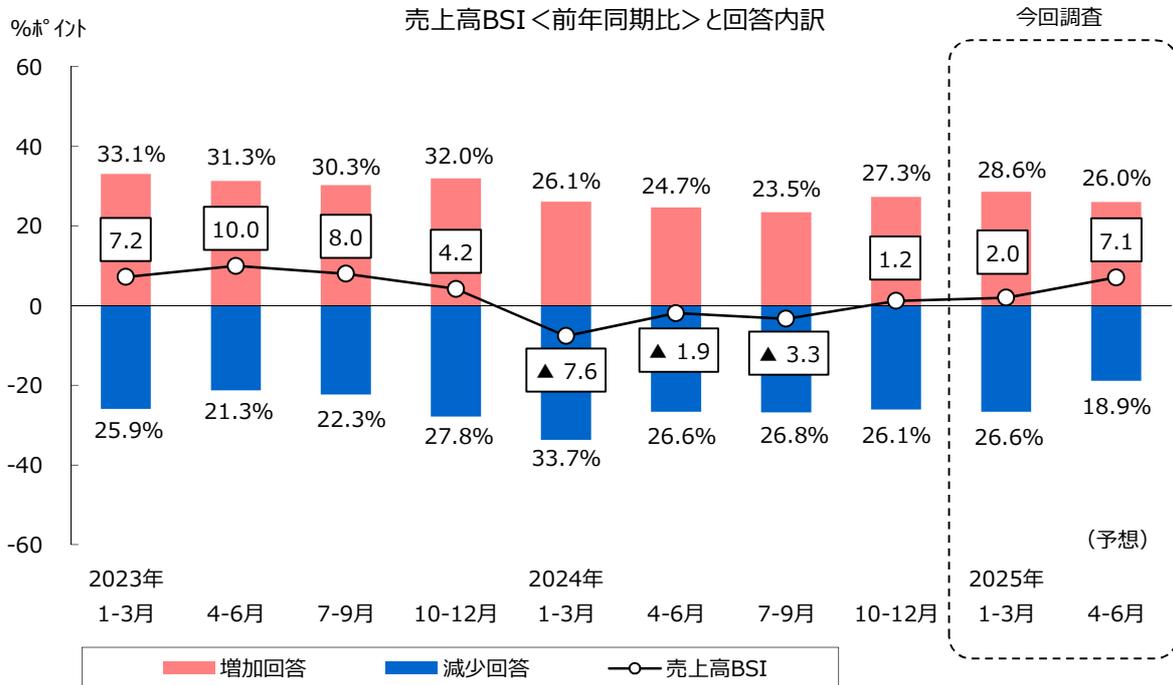
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2023年					2024年		2025年	
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	前回は	4-6月	今回は
山形地区										
		0.6	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 4.6	▲ 2.9	▲ 8.1	-5.2	4.4	+12.5
	製造業	5.3	▲ 12.2	▲ 12.3	▲ 14.3	0.0	3.8	+3.8	9.6	+5.8
非製造業	▲ 1.8	▲ 1.0	▲ 2.1	0.0	▲ 3.9	▲ 13.9	-10.0	1.8	+15.7	
置賜地区										
		8.9	▲ 13.2	▲ 2.9	▲ 8.1	8.5	3.0	-5.5	0.9	-2.1
	製造業	3.8	▲ 8.9	▲ 5.6	▲ 12.0	12.0	2.0	-10.0	0.0	-2.0
非製造業	14.6	▲ 17.4	0.0	▲ 4.1	5.3	3.6	-1.7	1.9	-1.7	
西部地区										
		▲ 1.7	▲ 19.0	▲ 5.5	0.0	▲ 6.2	▲ 1.8	+4.4	0.0	+1.8
	製造業	0.0	▲ 20.6	▲ 13.4	3.4	▲ 7.7	▲ 6.3	+1.4	3.1	+9.4
非製造業	▲ 3.7	▲ 16.7	4.1	▲ 4.0	▲ 4.4	4.0	+8.4	▲ 4.0	-8.0	
北部地区										
		▲ 11.4	▲ 13.6	▲ 2.0	▲ 8.3	5.6	▲ 1.0	-6.6	14.4	+15.4
	製造業	▲ 23.9	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 11.4	10.4	▲ 17.4	-27.8	▲ 2.2	+15.2
非製造業	2.4	▲ 3.8	2.1	▲ 4.9	1.7	13.4	+11.7	29.4	+16.0	
庄内地区										
		10.7	1.1	4.7	2.2	▲ 8.1	▲ 8.3	-0.2	2.4	+10.7
	製造業	10.0	15.1	20.0	22.8	5.9	▲ 3.1	-9.0	28.2	+31.3
非製造業	11.1	▲ 6.9	▲ 3.6	▲ 10.2	▲ 17.3	▲ 11.3	+6.0	▲ 13.4	-2.1	

## 2. 売上高BSI <前年同期比>

～増収基調が続き、業況判断BSIとは異なる方向感に～



### (1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI <前年同期比> は、前回調査に比べ +0.8 ポイントの 2.0 となり、2 期連続で上昇している。この結果、業況判断 BSI と売上高 BSI のギャップ (業況判断 BSI - 売上高 BSI) は ▲5.7 となり、両者のギャップは 2023 年 1-3 月以来 2 年ぶりの大きさとなった。電気・ガス料金に加え、農林水産物や非鉄金属等の国内企業物価が一段と上昇しており、業況への下押し圧力が再び強まっているものとみられる。

2025 年 4-6 月の予想については、今回調査比 +5.1 ポイントの 7.1 で、増収基調が継続する見込みとなっている。

### (2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比 -7.5 ポイントの 0.5 と低下したものの、非製造業は同 +6.5 ポイントの 3.1 と上昇した。

#### ① 製造業

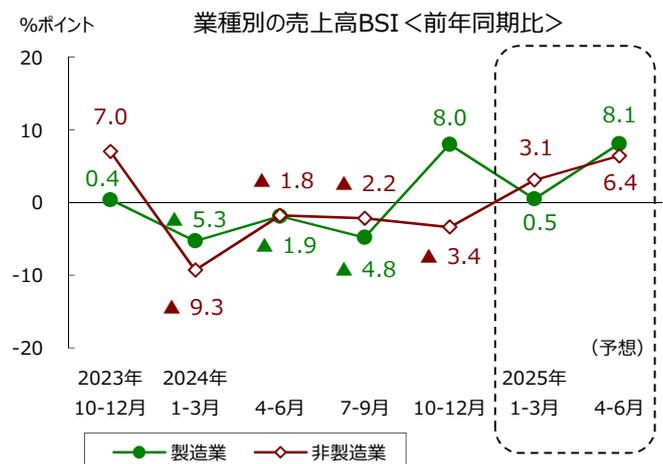
前回比では 9 業種中 4 業種が上昇、5 業種が低下と二分されたが、一般機械と鉄鋼・金属における大幅な低下が全体を下押しした。なお、

食料品・飲料と電気機械は、売上高 BSI は「増加超」を維持したものの、コスト高等をうけて業況判断 BSI は「悪化超」に転じている。

#### ② 非製造業

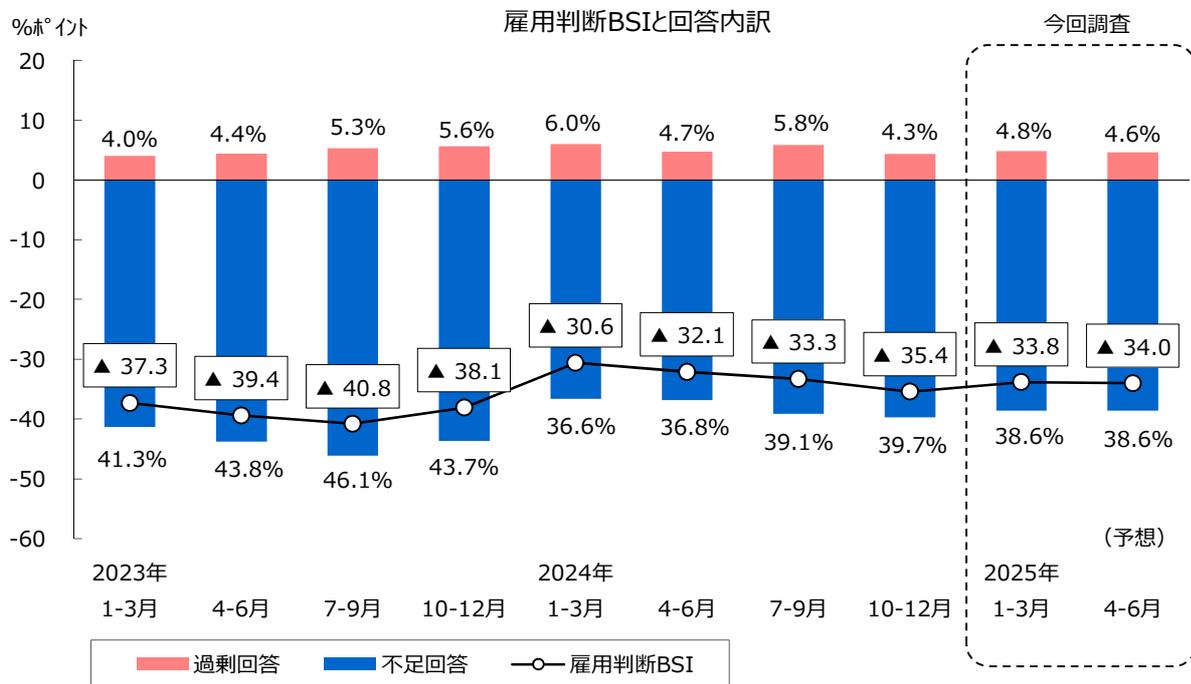
前回比では 6 業種中低下は卸売業のみで、他の 5 業種は価格転嫁の進展等をうけていずれも上昇した。この結果、小売業とサービス業・その他は「減少超」から「増加超」に転じている。

2025 年 4-6 月の予想は、製造業が今回調査比 +7.6 ポイントの 8.1、非製造業は同 +3.3 ポイントの 6.4 といずれも上昇する見込み。



### 3. 雇用判断BSI

～製造業、非製造業ともに人手不足感が若干緩和～



#### (1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が4.8%、「適正」が56.7%、「少ない」が38.6%となり、雇用判断BSIは前回比+1.6ポイントの▲33.8となった。全体としては依然として非常に人手不足感の強い状態にあるといえるものの、▲40前後であった2022年～2023年の雇用判断BSIに比べれば、やや高めの水準が続いている。

こうしたなか、2025年4-6月の予想は、今回調査比-0.2ポイントの▲34.0で、ほぼ横ばいとなる見込みである。

#### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比+0.7ポイントの▲21.4で2期ぶりに上昇し、非製造業も同+1.9ポイントの▲42.7で2期連続の上昇となっている。

##### ① 製造業

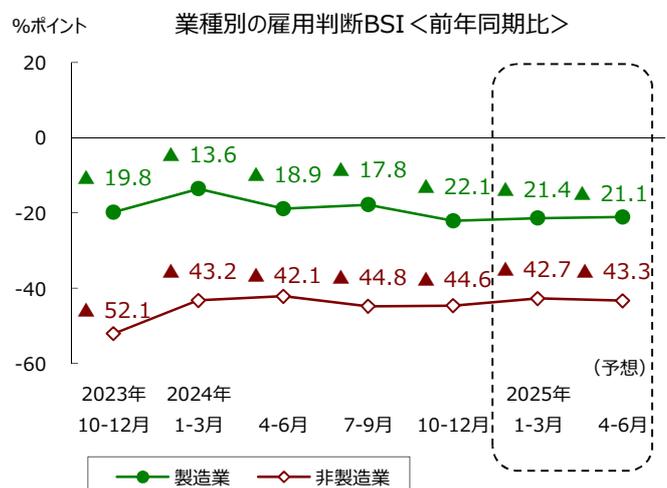
前回比では9業種のうち上昇が5業種、低下が3業種、横ばいが1業種となった。前回比で業況

判断BSIが低下した鉄鋼・金属や繊維・衣服などにおける上昇幅が大きくなっている。

##### ② 非製造業

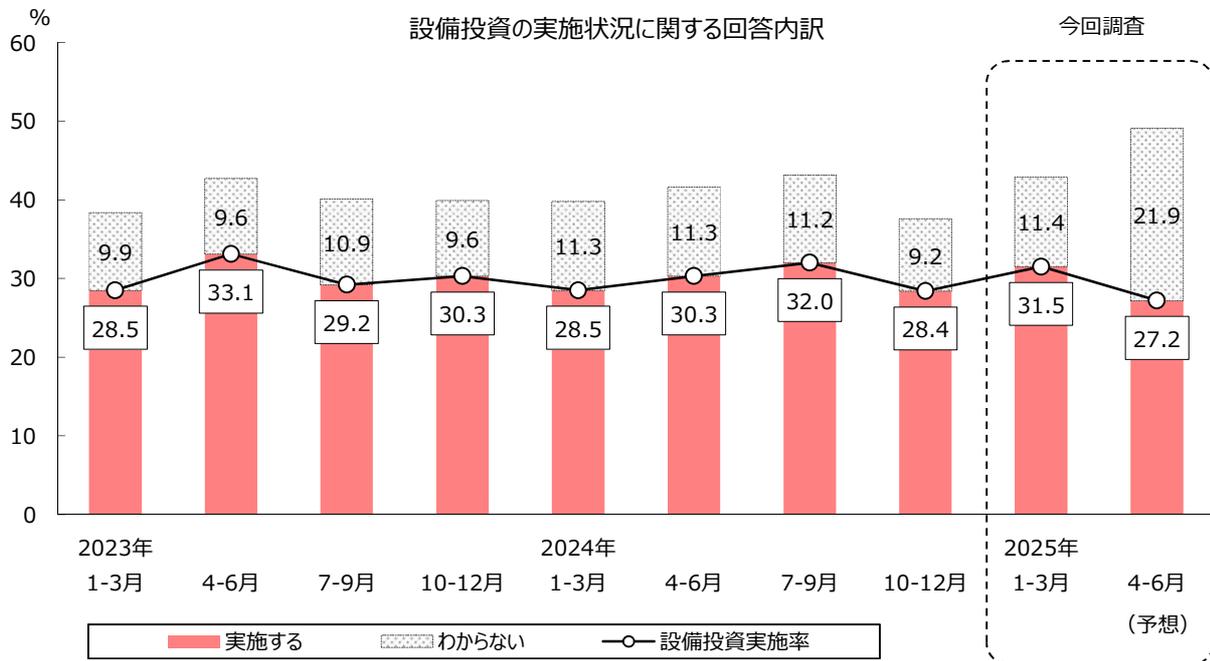
前回比では6業種のうち低下したのは旅館・ホテル、飲食業のみで、5業種が上昇した。なかでも小売業の上昇幅が最も大きく、年末商戦等季節的な要因が反映された可能性がある。

2025年4-6月の予想については、製造業が今回調査比+0.3ポイントの▲21.1、非製造業は同-0.6ポイントの▲43.3となる見込み。



## 4. 設備投資実施率

～前期における低下の反動もあって、年度末ながら上昇～



### (1) 全産業ベースの動向

2025年1-3月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比+3.1ポイントの31.5%となり、2期ぶりに上昇した。例年1-3月は設備投資実施率が低下する時期にあたるが、異例の上昇で、2023年1-3月、2024年1-3月(ともに28.5%)と比べても高水準になっており、底堅い推移が続いているとみることができる。

2025年4-6月の予想については、設備投資実施率は今回調査比-4.3ポイントの27.2%となる見込み。年度初めで例年実施率が上昇する時期でもあり、高水準となることが予想される。

### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比+4.1ポイントの38.6%と高水準になった。非製造業も同+2.1ポイントの26.4%で、低水準ながら2期連続の上昇となっている。

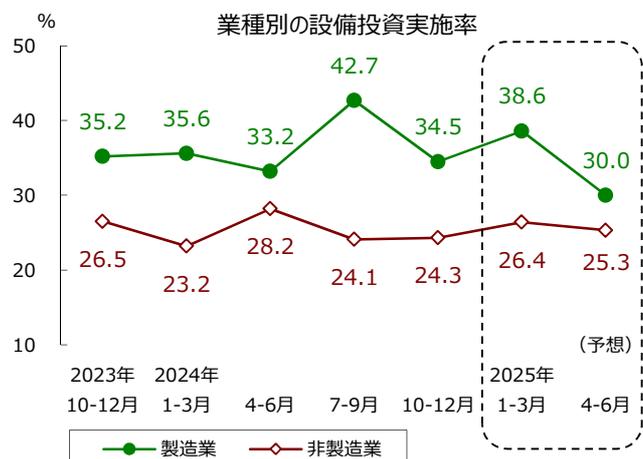
#### ① 製造業

前回比では設備投資実施率が上昇した業種は

9業種中6業種で、電気機械が52.0%で最も高くなっており、次いで輸送機械が45.5%、その他製造業が44.1%、食料品・飲料が42.1%の順になった。

#### ② 非製造業

前回比では設備投資実施率が上昇した業種は6業種中2業種のみであったが、企業数の多い建設業・不動産業が全体を押し上げた。業種別にみると、運輸業が47.1%で最も高くなっており、次いでサービス業・その他が34.5%、小売業が29.8%の順になった。



## 5. コスト上昇の影響

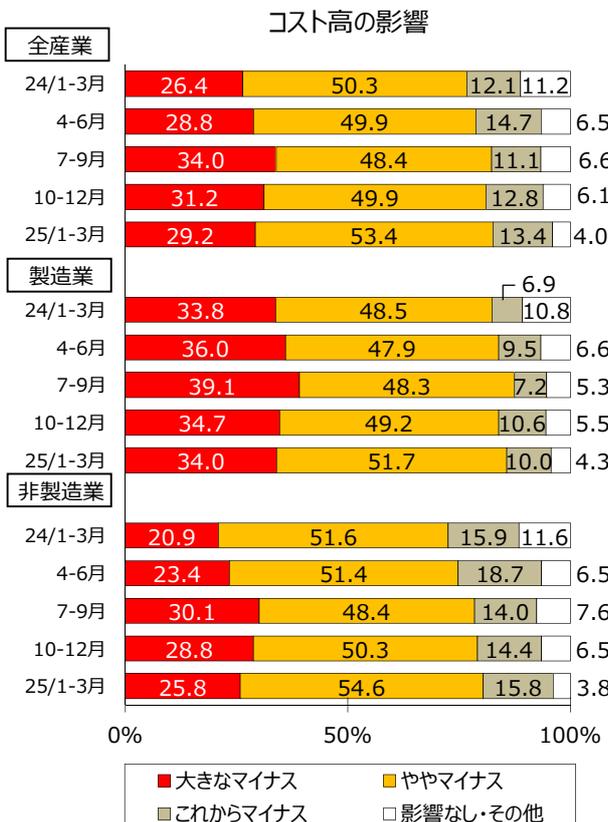
### ～コスト高の悪影響をうける企業の割合は足もと上昇～

#### (1) コスト上昇の影響

2025年1-3月において、事業活動に関わる原材料費、光熱費、人件費等のコスト上昇が業況に影響を与えているかどうかきいたところ、「大きなマイナスの影響がある」が29.2%、「ややマイナスの影響がある」が53.4%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が13.4%、「あまり影響はない」他が4.0%となった。

現在マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は82.6%で、当該調査項目を開始した2024年以降で最も高い割合となっている。「大きなマイナスの影響がある」の割合のみをみれば2期連続で低下しており、コスト高への対応が徐々に進んでいる様子もうかがえるものの、政府の電気・ガス料金支援の中断や、各種原材料価格の高騰継続をうけて、コスト高による業況下押しのすそ野は再び拡大している。

現在マイナスの影響があるとする割合を業種

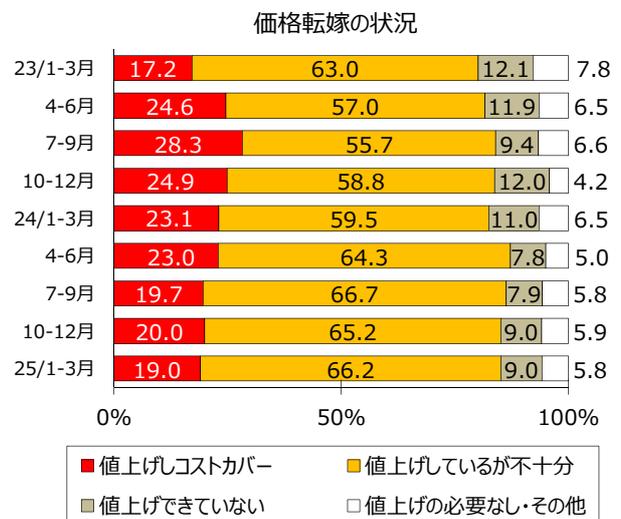


別にみると、製造業が85.7%、非製造業が80.4%で、非製造業は当該調査項目開始以来4期連続の上昇となっている。

#### (2) 価格転嫁の状況

2025年1-3月におけるコスト上昇分の取扱製品・サービスへの価格転嫁の状況についてきいたところ、「値上げをしており、コスト上昇分をおおむねカバーできている」が19.0%、「値上げをしているが、コスト上昇分をカバーするには不十分である」が66.2%、「値上げをしたいが、全くできていない」が9.0%、「コスト上昇は軽微であり、値上げを行う必要はない」他が5.8%となった。値上げをしている割合(「値上げしコストカバー」+「値上げしているが不十分」)は85.2%で前回比横ばいとなったが、「おおむねカバーできている」の割合は2023年1-3月以来の低水準となった。

「おおむねカバーできている」とする割合が前回比低下した業種は、製造業では食料品・飲料、鉄鋼・金属、電気機械、一般機械、その他製造業、非製造業では建設業・不動産業、小売業、旅館・ホテル、飲食業で、国内企業物価の上昇が特に目立っている農林水産物や非鉄金属等に関連する業種が多くなっている。



以上

## 参考：業種別総括表

2025年1-3月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資 実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	503	▲ 3.7	-3.9	2.0	+0.8	▲ 33.8	+1.6	31.5	+3.1
		4.8	+8.5	7.1	+5.1	▲ 34.0	-0.2	27.2	-4.3
製造業	210	▲ 3.8	-9.4	0.5	-7.5	▲ 21.4	+0.7	38.6	+4.1
		6.6	+10.4	8.1	+7.6	▲ 21.1	+0.3	30.0	-8.6
食料品・飲料	38	▲ 7.9	-7.9	5.3	-8.2	▲ 15.8	+3.1	42.1	+4.3
		▲ 7.8	+0.1	13.2	+7.9	▲ 23.7	-7.9	28.9	-13.2
繊維・衣服	16	▲ 18.7	-18.7	▲ 6.2	+8.1	▲ 25.0	+10.7	37.5	-8.7
		0.0	+18.7	6.3	+12.5	▲ 25.0	±0.0	43.8	+6.3
木材・家具	11	36.3	+27.2	54.5	+45.4	▲ 27.3	+9.1	27.3	+9.1
		45.4	+9.1	45.4	-9.1	▲ 20.0	+7.3	18.2	-9.1
窯業・土石	10	▲ 20.0	+35.6	0.0	+55.6	0.0	±0.0	30.0	-3.3
		10.0	+30.0	▲ 10.0	-10.0	0.0	±0.0	20.0	-10.0
鉄鋼・金属	23	▲ 4.3	-18.6	▲ 13.0	-36.9	▲ 26.1	+12.0	21.7	-2.1
		▲ 4.3	±0.0	4.3	+17.3	▲ 26.1	±0.0	17.4	-4.3
電気機械	25	▲ 4.0	-7.3	8.0	-5.3	▲ 20.0	-3.3	52.0	+2.0
		16.0	+20.0	8.0	±0.0	▲ 24.0	-4.0	40.0	-12.0
一般機械	42	▲ 2.4	-36.6	▲ 11.9	-32.9	▲ 26.2	+0.1	35.7	+9.4
		19.0	+21.4	14.3	+26.2	▲ 21.5	+4.7	23.8	-11.9
輸送機械	11	▲ 9.1	+50.9	▲ 18.2	+31.8	▲ 27.3	-17.3	45.5	+25.5
		▲ 18.2	-9.1	▲ 18.2	±0.0	▲ 27.3	±0.0	45.5	±0.0
その他製造業	34	0.0	-13.8	5.9	-11.9	▲ 20.6	-6.8	44.1	+4.8
		5.9	+5.9	0.0	-5.9	▲ 14.7	+5.9	35.3	-8.8
非製造業	293	▲ 3.7	-0.3	3.1	+6.5	▲ 42.7	+1.9	26.4	+2.1
		3.5	+7.2	6.4	+3.3	▲ 43.3	-0.6	25.3	-1.1
建設業・不動産業	94	▲ 6.4	+3.5	▲ 4.2	+7.9	▲ 52.1	+0.6	27.7	+10.1
		5.3	+11.7	0.0	+4.2	▲ 55.3	-3.2	20.2	-7.5
運輸業	18	22.2	-9.4	61.1	+29.5	▲ 66.7	+1.7	47.1	-0.3
		11.1	-11.1	44.4	-16.7	▲ 66.7	±0.0	50.0	+2.9
卸売業	64	▲ 26.5	-16.5	▲ 23.4	-21.7	▲ 25.0	+3.3	15.6	-1.1
		▲ 9.5	+17.0	▲ 7.8	+15.6	▲ 28.1	-3.1	15.6	±0.0
小売業	47	4.3	+6.3	14.9	+20.9	▲ 29.8	+8.2	29.8	+5.8
		6.4	+2.1	17.0	+2.1	▲ 27.7	+2.1	27.7	-2.1
旅館・ホテル, 飲食業	15	26.7	+20.5	60.0	+53.8	▲ 60.0	-22.5	0.0	-12.5
		20.0	-6.7	33.3	-26.7	▲ 53.3	+6.7	13.3	+13.3
サービス業・その他	55	3.6	+5.4	1.9	+5.5	▲ 45.4	+2.9	34.5	-4.8
		5.6	+2.0	5.4	+3.5	▲ 43.6	+1.8	38.2	+3.7

上段…2025年1-3月、下段…2025年4-6月予想